

# 《「新 輝け！ちば元気プラン」4年間の総括（25年度～28年度）》

基本目標	政策分野	施策項目	4年間の総括																			
			4年間の主な成果・課題・新計画への反映																			
I 安全で豊かな暮らしの実現	3 健康で長生きできる社会づくり	①安心で質の高い医療サービスの提供	<p><b>【4年間の主な成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学生を対象とした修学資金の貸付や医師キャリアアップ・就職支援センターを通じた県内就業への誘導、看護学生への修学資金貸付枠の拡充や看護学校等の定員増への支援等を進め、県内の医師数、看護職員数は増加傾向にあります。</li> <li>・重篤な救急患者の救命治療を24時間体制で行う救命救急センターについて、計画期間内に新たに2病院を指定し、山武長生夷隅医療圏の未設置の状況を解消しました。</li> <li>・周産期母子医療センターとして計画期間内に新たに3病院を指定し、東葛北部医療圏の未設置を解消するとともに、小児救急電話相談の相談時間を延長して深夜・早朝時間帯にも対応するなど、小児・周産期医療体制の充実を図りました。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の人口10万対医師数や看護職員数は依然として全国平均を大きく下回っており、医師・看護職員の確保・定着対策を引き続き進めていく必要があります。</li> <li>・本県では平成37年(2025年)には75歳以上の人口が100万人を超えることが予測されており、増大する医療ニーズに対応できる医療提供体制の構築が求められています。</li> </ul> <p><b>【新計画への反映】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の医療ニーズに対応するため、医療機関の役割分担・連携の促進や在宅医療の充実を図るとともに、医師・看護職員等の人材の確保や救急・小児・周産期医療等の体制整備、高度専門医療や中核的な地域医療を担う県立病院の施設整備等に引き続き取り組み、県民が安全で質の高い医療サービスが受けられる体制の構築を進めてまいります。</li> </ul>	<p>自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると感じている県民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>割合</th><td>46.4</td><td>50.2</td><td>55.2</td><td>59.1</td><td>59.8</td><td>58.1</td><td>60.1</td><td>61.9</td></tr> </table> <p>千葉県医師キャリアアップ・就職支援センターの技術研修</p>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	割合	46.4	50.2	55.2	59.1	59.8	58.1	60.1	61.9
		年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28												
		割合	46.4	50.2	55.2	59.1	59.8	58.1	60.1	61.9												
		②生涯を通じた健康づくりの推進	<p><b>【4年間の主な成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康ちば推進県民大会」における講演会（のべ879名参加）や特定健診・特定保健指導従事者研修会（のべ2,109名参加）等の開催により、生活習慣病予防や重症化予防、ロコモティブシンドローム予防の情報提供・普及啓発を図りました。</li> <li>・がん予防展・講演会、ピンクリボンキャンペーン、民間企業等と連携した県民のがん予防意識の啓発、がん検診推進員育成講習会等を開催し、がん検診受診率向上を図りました。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県の健康寿命は平成12年から延伸していますが、高齢期のQOLの向上を図るためには、引き続き、健康寿命を延伸させていく必要があります。</li> <li>・地域や社会経済状況の違いにより、県民の健康状態には地域・集団での格差が生じているため、健康格差の縮小が求められています。</li> </ul> <p><b>【新計画への反映】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命の延伸に向け、生活習慣病の発症・重症化防止のため、ライフステージや健康状態に応じた対策や、県民自らが健康づくりに取り組める体制づくりなどに取り組みます。</li> <li>・健康格差分析事業の結果等を参考として、個人のみでなく家庭・職場・地域にも視点を置いて、地域の特性に応じた健康づくり施策を支援していきます。</li> </ul>	<p>自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると感じている県民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>割合</th><td>50.4</td><td>50.5</td><td>52.2</td><td>52.6</td><td>50.7</td><td>48.9</td><td>61.1</td><td>61.7</td></tr> </table> <p>健康体力づくり指導者研修会</p>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	割合	50.4	50.5	52.2	52.6	50.7	48.9	61.1	61.7
		年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28												
割合	50.4	50.5	52.2	52.6	50.7	48.9	61.1	61.7														
③高齢者が生き生きと安心して暮らせる社会の推進	<p><b>【4年間の主な成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急速な高齢化の進展に伴い、今後も増大が見込まれる施設介護のニーズに対応するため、平成27年度から特別養護老人ホーム1床あたりの補助単価を全国トップクラスの450万円（従来は400万円）とし、4年間で、広域型特別養護老人ホームを3,924床、地域密着型特別養護老人ホームを682床と、積極的な整備を図りました。</li> <li>・高齢者の孤立化防止ネットワークを構築している市町村数は年々増加し、平成28年には51市町村で整備され、地域の見守り体制づくりが進んでいます。また、認知症疾患医療センターは9病院に委託し、県内すべての圏域に設置され、認知症の方とその家族が安心して暮らせる地域づくりの役割を担っています。（千葉圏域については、千葉市が委託済み。）</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、都市部を中心に高齢者が急速に増加していくことから、高齢者が生きがいを持ちながら社会の中で役割を担う「生涯現役社会」の実現に向けた環境整備や健康づくりを進める必要があります。</li> <li>・また、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、在宅介護サービスの充実や医療と介護の連携強化などを通じて、地域包括ケアシステムを構築する必要があります。</li> </ul> <p><b>【新計画への反映】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯現役社会の実現に向けて、高齢者の地域での活躍の支援や雇用・就業の拡大を図るとともに、高齢者が自ら行う健康づくりの推進と介護予防等の取組を推進します。</li> <li>・社会全体で高齢者の暮らしを支える地域包括ケアの構築を更に進めるため、引き続き、医療と介護の連携の推進や生活支援サービスの充実、高齢者が暮らしやすい住まい・まちづくり等に取り組めます。</li> </ul>	<p>特別養護老人ホームユニット型個室</p> <p>高齢者対策について満足している県民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>割合</th><td>17</td><td>17.4</td><td>15.7</td><td>15.5</td><td>15.9</td><td>18</td><td>35</td><td>35</td></tr> </table> <p>特別養護老人ホームユニット型個室</p>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	割合	17	17.4	15.7	15.5	15.9	18	35	35		
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28														
割合	17	17.4	15.7	15.5	15.9	18	35	35														
④障害のある人がその人らしく暮らせる社会の構築	<p><b>【4年間の主な成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームの開設支援や運営の安定化に取り組んだ結果、整備が促進され、定員数は平成25年度から1,016人（7月下旬判明予定）増加し、地域社会での住まいの場を提供することができました。</li> <li>・平成28年6月に制定された「手話言語条例」等に基づき、手話等に対する県民の理解の促進に努めるとともに、研修事業の実施などにより手話通訳者や点訳・朗読奉仕者の養成を図りました。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある人がその人らしく暮らせる社会とするため、ライフステージに合った障害福祉サービスの充実や、障害のある人に対する理解の促進を図ることが必要です。</li> </ul> <p><b>【新計画への反映】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある人がライフステージに合った福祉サービスを選択することができ、地域社会の中で人々と共生しながら、その人らしく暮らせる環境を整備するとともに、障害のある人への理解を広げ、障害のある人もない人も共に暮らしやすい共生社会の実現を図ります。</li> </ul>	<p>障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると感じる県民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>割合</th><td>19.5</td><td>18.3</td><td>19.5</td><td>14.1</td><td>14.4</td><td>14.5</td><td>35</td><td>35</td></tr> </table> <p>一般企業へ就労するためのトレーニングの様子</p>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	割合	19.5	18.3	19.5	14.1	14.4	14.5	35	35		
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28														
割合	19.5	18.3	19.5	14.1	14.4	14.5	35	35														
⑤互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりの推進	<p><b>【4年間の主な成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者横断的な福祉総合相談窓口について、市町村との意見交換会を毎年度実施した結果、4年間で7市町村が窓口を設置するなど、福祉全般にわたる総合相談・地域住民の生活支援を行う体制の整備を進めました。</li> <li>・ボランティア活動などに楽しみながら親しむことのできる企画を盛り込んだイベントの実施など、県民のボランティア活動への参加促進に取り組み、ボランティア活動に参加したことの割合は増加しています。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題が複雑化・多様化する中、地域の関係者等がそれぞれの持つ力を持ち寄り、ネットワークで解決する仕組みが求められています。</li> <li>・高齢者の社会参加に関する意識は高まっており、元気な高齢者が地域福祉の担い手として活躍することが期待されています。</li> </ul> <p><b>【新計画への反映】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民や地域の多様な主体による協働・連携を促進し、地域課題の解決に向けた取組や仕組みづくりを支援するとともに、高齢者をはじめとした多くの県民が地域活動の担い手として活躍できるよう取組を進めてまいります。</li> </ul>	<p>ボランティア活動に参加したことのある人の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td></tr> <tr><th>割合</th><td>13.8</td><td>16.5</td><td>19.5</td><td>18.3</td><td>37.2</td><td>35.6</td><td>24</td><td>24</td></tr> </table> <p>フルーツマラソンでのボランティア活動</p>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	割合	13.8	16.5	19.5	18.3	37.2	35.6	24	24		
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28														
割合	13.8	16.5	19.5	18.3	37.2	35.6	24	24														